

Case 7

タオルを使っていただくお客様のために タオルの洗濯による風合い変化の検討



Step 1

東京都青梅市に所在する老舗のタオルメーカー、ホットマンでは、お客様に、より適切な状態でタオルを使用していただくために、タオルの風合いに及ぼす洗濯の影響について、より正確な情報を提供したいと考えていました。そのためには、タオルの洗濯に関する各種のデータが必要となります。



タオル製造工場の見学

Step 2

そこで、被服整理学研究室に依頼し、研究を実施しました。同社で製造したタオルを実験材料として、アルカリ剤、粉末・液体洗剤(柔軟剤添加の有無)を用い、洗濯・自然乾燥を繰返し行い、目視と手触りによる風合い変化について学生による評価を行い、洗濯の影響を検討しました。



洗浄試験に用いた主な試料

Step 3

渦巻き式全自動洗濯機を用いた洗浄試験では、同社製のタオルは、今回比較した他のメーカーのタオルに比べて洗濯による風合い変化が少なく、その品質の優秀さが認められました。同社では、今後、こうしたデータは商品を購入するお客様に提供する有用な情報のひとつになると期待しています。



企業にて成果報告

Topics

パートナーであるホットマンは、青梅市に所在する老舗のタオルメーカーです。研究にあたっては、タオルをよく知る必要があります。そこで、本研究は工場見学やスタッフの方との意見交換等により、タオルの製造や性状を理解することからスタートしました。

Data

- パートナー ホットマン株式会社
- 担当教員 藤居眞理子教授
(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2009年9月～2010年3月

Comments

本プロジェクトは地元の老舗メーカーからの委託研究です。豊富なお客様とのコミュニケーションと、原材料と製造方法に裏打ちされた確かな品質を誇る素晴らしいタオルメーカーです。同社の商品は、企業の歴史の中で、その品質の高さが証明されていますが、本研究では、科学的な観点から、その品質を確認しました。こうした研究により、同社商品の品質の確かさを裏付けることができたと考えています。